

平成30年9月19日

那須烏山市議会議長 沼田邦彦 様

総務企画常任委員会委員長 小堀道和

決算審査結果報告書

本委員会に平成30年9月10日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

1 審査期日

平成30年9月11日（火）及び12日（水）

2 審査場所

那須烏山市役所 南那須庁舎 第一委員会室

3 出席委員

小堀道和、興野一美、堀江清一、矢板清枝、高田悦男

4 説明のための出席者

会計管理者兼会計課長 滝田勝幸、総合政策課長 石川浩、まちづくり課長 佐藤博樹、総務課長 福田守、税務課長 水上和明、議会事務局長 大谷啓夫 他関係職員

5 審査事項

本委員会の所管する総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会の平成29年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出決算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

総合政策課

- ・ふるさと応援寄附金については、制度の趣旨を踏まえ、地域の魅力発信や交流人口の

拡大等も視野に魅力ある返礼品の充実を図り自主財源の確保に努められたい。

- ・広報活動は広報紙のほかホームページやメール、ツイッター、フェイスブックなどを活用しているが、電子情報通信を活用する際には、高齢者に対し操作方法の指導も含め丁寧な対応をされたい。広聴活動では市民参加による市政運営を促進するためにも、市の課題をきちんと提示し、それに対する意見を出してもらおうような工夫を期待する。

まちづくり課

- ・デマンド交通について、路線拡大やコールセンターのあり方などを検討し、交通弱者が利用しやすく、効率的効果的な運行に向けて見直しをされたい。
- ・平成30年3月に男女共同参画計画を策定されたが、今後は計画の趣旨に沿って市民の意識を確認しながら具体的な事業に積極的に取り組まれることを期待する。計画の推進にあたっては、市長自ら先頭に立って市民の意識向上に向け活動を進めていただきたい。

総務課

- ・現行の防災無線を廃止するにあたり、市民に不安を与えることがないように事前周知を十分に行われたい。これに代わる方法として市民に広く情報が届けられるよう新たなシステムの構築を図り、今後の防災対策について万全な体制がとれるよう努められたい。
- ・職員のメンタルヘルスについて、カウンセリングを実施するなど早期に対処しているとのことだが、精神的な理由による不調者の退職が続いていることから、業務量の管理、年次有給休暇の取得しやすい環境整備、職員間のコミュニケーション向上などに努められたい。

税務課

- ・平成30年度から徴収体制を見直し、県との連携もさらに強化して自主財源確保のために日々努力されているが、平成29年度の市税徴収率が3年連続県内最下位になったことから、徴収率引き下げの要因となっている固定資産税の大口滞納の整理により、一層力を傾注されたい。これら大口滞納を除けば県内上位の徴収率であることから、市税徴収の状況については、市民の不公平感を招かないよう今後も丁寧な情報提供を心掛けられたい。